

平成28年9月13日（火）

○議長（中本正人君） 順番10、14番 岡君。

〔14番（岡 弘悟君）登壇〕

○14番（岡 弘悟君） 皆さん、おはようございます、こんにちがかな。かなり時間もあるんですけど、僕、今回、大項目が一点だけ。ふだん、結構多くねちねちするんで、きょうはもうすかっと「はい、やります」という答弁をいただいて、「ああ、お願いします」ということで終わろうかなと思ったんですけど、なかなかそうは行かんような感じもしますんで、またちょっとねちねちするかもしれませんけども、大項目一点、通告に従いまして、一般質問させていただきます。

小・中学校、その他施設の焼却炉撤去についてです。

私が小学生の頃には、まだ学校に小さな焼却炉がありました。学校だけではなく、いろいろな場所で普通に見かけるものでしたが、ダイオキシンの問題など、環境や人体に対する影響がわかり始め、次第に焼却炉は姿を消しました。しかし、本市において、いまだ撤去されていない焼却炉があるのは事実であります。なぜ撤去されず、現在まで放置されているのでしょうか。特に学校などの施設では、多くの子どもたちがその焼却炉に触れる危険性があるにもかかわらず、撤去されていないのはなぜでしょうか。早急な撤去をお願いいたします。

僕ら子どもの頃には、本当に普通にあって、プリントを燃やしたりだとか、何かごみ箱の中のを燃やしに行き、よくごみ箱も一緒に燃えたりだとか、そういったことはよくあったんですけども、まさかその頃には、どこでもそういう施設、施設というか、どこで

も家庭にもあったりして、なかなか普通に皆さん野焼き、今、市の条例で野焼きできないんですけども、皆さん、よくご存じのとおり、ベトナム戦争で枯れ葉剤を米軍が使用いたしまして、そのときに人体に影響があるということがわかって、物質は何かと調べたらダイオキシンやった。いろんな環境で諸説があって、ダイオキシンは別に微量であれば人体に影響がないという方もいらっしゃいますけども、事実、ベトナム戦争で使われた枯れ葉剤によって人体に影響があったのは、基本的に今はもう科学的な事実になっていますので、やはりダイオキシンが発生するものは使用しない、撤去していこうという風潮があったにもかかわらず、今、本市の小学校、文教施設に残っているというお話を聞きましたので、その点について詳しくお聞きしたいと思います。よろしくをお願いします。

○議長（中本正人君） 14番、岡君の質問、小・中学校、その他施設の焼却炉撤去に対する答弁を求めます。

教育長。

〔教育長（小林俊治君）登壇〕

○教育長（小林俊治君） 小・中学校、その他施設の焼却炉撤去についてお答えします。

現在、橋本市立小学校と市立中学校において、焼却炉は小学校9基、中学校は旧西部中学校、旧学文路中学校を含め6基、合計15基あります。教育委員会が管轄する他の施設にはありません。平成9年に和歌山県教育委員会より「学校におけるごみ焼却の抑制・廃止について」の通知があり、これを受けて焼却炉を使用せずに、ごみの減量、分別、リサイクルに努め、現在に至っています。

しかしながら、焼却炉につきましては、各小・中学校に放置されたまま、撤去が進んでいない状態です。

長年放置されている経緯といたしましては、解体費用が多額になること、また学校本体の施設修繕等、優先的に行わなければならない案件が多かったことなどがあります。

今後は、安価な方法で危険性が除去できる対策を考えてまいります。

○議長（中本正人君）14番 岡君、再質問ありますか。

14番 岡君。

○14番（岡 弘悟君）ありがとうございました。まず一点、小学校9基、中学校6基、計15基。では、撤去された焼却炉は何基あるのでしょうか。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）小学校8校が撤去されていません。その中で九つ焼却炉がございます。ということは、小学校で7校、7基撤去されていません。中学校につきましては、橋本中央中学校以外は撤去されていません。ということで、8校、撤去されていない学校があると。撤去されている学校が8校です。

○議長（中本正人君）14番 岡君。

○14番（岡 弘悟君）先ほど説明受けたんですけども、撤去されている学校は、予算がかからなかったんですか。予算がかかったから撤去でけへんかったんですよね。そして、ほかに何かやらなあかんことがあって、撤去できなかったんですよね。撤去できた学校はほかにやることもなかったし、予算もかからなかったんですよね。僕、焼却炉の撤去って、基本、同じだけ予算がかかると思うんですけども、安くなった理由は何なんでしょうか。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）県からの焼却炉を使

用しないというお話が出たのが平成9年です。議員おただしの件で言いますと、ダイオキシンの問題が全国的に話題というか、問題になったのが平成11年の時代でありました。その9年から11年にかけて不必要なものというのは、ダイオキシンのあるなしにかかわらず、自分たちで撤去したという学校が8校であったと、そのように認識しています。

○議長（中本正人君）14番 岡君。

○14番（岡 弘悟君）数は間違えているか、おうとるかは別として、不必要やから自分たちで撤去できたんですよね。そういう問題が出てきて自分たちで撤去したとしても、教育委員会としては、それを束ねるトップですよ。自分たちで自主的にやったとしても、そのときに全校自主的にやりなさいという話は、僕はすべきやと思うんですけどね、自主的にできるのであれば。今になって、お金がかかるからできなかつたというのと矛盾しませんか。今、お金がかかるからできなかつたと言ったんでしょ。それ、今できない話ちゃいますの。過去はできたんちゃいます。それ、今の話でしょう。お金がかかってできないのは、今なんでしょう。やってこなかったのはお金がかかったからじゃないんでしょ。それは矛盾ですよん。僕、話、おかしいですよ、それ。納得できないですね。その辺はまあいいとして、今撤去するのにいくらかかるんですか。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）概算で業者に見積もりをいただきました。1基160万円、これはダイオキシンのサンプル調査を含めて、ダイオキシンの含有量が基準以上の場合の特別な施工方法で、概算160万円という金額の見積もりをいただいています。

○議長（中本正人君）14番 岡君。

○14番（岡 弘悟君）僕、今、教育長がかわ

られて、市長もかわられて、新しい行政の体制に入って、平成9年から11年の話をここでしてもしゃあないと思っと思ったんです、ほんまの話ね。今後どないしていくんかというの、やっぱり一番そこが大事やから、その話をしたいと思うんやけど、160万円、15基。今、同僚議員が1,000万円のお話をされたときに、市長はすごくお困りになられている。そんな財政状況の中で160万円かかるんですよね。

さっき聞いたら、自分たちで撤去した時代があった。もちろん、それが適切かどうかはわかりませんよ、当時ね。今の適切はこれなんやろうけども。18年間、撤去されたところは、費用だけじゃないですよ。安全性もそうやし、この差というのは何なんでしょうか。今ここでどう言うたらええか、僕はわからんですよ。

僕、質問せえへんかったら、これ、ずっとあったんと違いますか。僕と言わず誰かが質問するまで、これ、あったんと違いますか。ダイオキシン、今、出るかどうかといたら、疑問やと思うんです。18年たつとるんで。それも使用されてないんでね。僕、そこで言いたいことがある。だからええっていう話と違うでしょう。18年前は出なかったんですか。18年の間に、18期の子どもたちが卒業しとんですよね。今出ないかもしれん。10年前は、15年前はという話になってしまうんで、一刻も早く撤去していただきたいんやけども160万円かかる。これは財政的に、今の現状では無理。教育委員会として、何か代替案はあるんですか。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）教育委員会としては、伊都振興局の健康福祉部のほうにこの焼却炉のことで問い合わせをしております。基本的に、焼却炉の設置の届け出の義務はない。また、放置していることに法的に問題はない、

違法ではないという回答は受けています。ただ、議員おただしのとおり、ダイオキシン、これが心配であるなら、サンプル調査をなさいということで、サンプル調査をして基準以上であれば、ダイオキシンを除去して処分する。ただし、ダイオキシンが基準以下であっても、産業廃棄物として処分する必要があると思います。

先ほどお話しさせていただいたとおり、サンプル調査そのものがかなり高額な金額になっています。この部分をどうしていくか、今後考えていきたいと思っています。例えば、これは業者の見積もりでございますので、ほかの方法を模索してサンプル調査ができないかどうか。今、自分たちが考えているのは、まずサンプル調査を安価な方法でできる方法を模索していきたいと、そのように思っています。その上で、基準以上であれば、やはり子どもたちの健康にも関係してまいりますので、市当局とも相談しながら緊急に対応していきたいと、そのように思っています。

○議長（中本正人君）14番 岡君。

○14番（岡 弘悟君）いや、いい答弁はいただいておりますので、あんまりと思うんやけど、最初の答弁で、お金ないからでけへんとか、ほかのことをやらなあかんと言うて、さらに今は値段が上がって160万円を今後どう処理していくんかなというのは、緊急にやっていくと言いながら、安いときでけへんかったんでしょう。どうやってできるんですか。それ、今、聞いて、わかりましたって僕簡単にここで終わって、1年後に聞いたら、いや、まだ1基もできてませんみたいな話になるんかなというのは悲しいので、もうちょっとだけ聞かせてくださいね、まだ15分しかたってないんで。

保健所の話は、僕も法律の話はよくわかるんです。じゃあ、なぜ撤去した学校があつて、

県は平成9年から使用を禁止したかという、人体に影響があるかもしれんし、子どもに悪影響があるかもしれんからという理由ですよ。ということは、法律で撤去するとかせえへんとかという話ではなくて、まあまあいいお答えをもうとるんですよ。それは関係なく撤去していくという話は。ただ、法律で撤去しなくちゃならないってなれば、もっと大変な話であって、じゃあ、160万円で15基使うんかという話にもなりかねるので、本当にいい方法というのは模索していかなあかんと思うんです。

ここでいくら議論しても恐らく答えは出ないんで、僕ももうこれ以上言っても仕方がないとは思いますが、やっぱり一番大事なのは現場で働いている方がどう感じているかということと、やっぱり子どもたち、子どもたちにかかわる保護者の皆さんですよ。その話というか、意見というのを、情報として撤去している学校があるのであれば、やはり校長会もあるんでしょう。何のためにしとるんですか。情報の共有したらいいんと違いますの。実際、これ、過去から、うちの学校は残っているから撤去してほしいというふうなお話は一切上がってこなかったんですかね。

○議長（中本正人君）教育長。

○教育長（小林俊治君）私も2年ほど途切れてはいますけども、十数年、校長会に校長として、また教育長として出席をしています。その場では、焼却炉撤去のお話はありませんでした。

ただ、平成9年の県からの通達について振り返ってみますと、やはり使用しないという形で、使用しなければいいという形での判断があったのではないかと、そのように思っています。それと同時に、ないほうが、例えば、グラウンドで使いやすい場合とか、焼却炉のある位置によって邪魔にということはないん

ですけども、不便であるということで、要、不要で言うならば、急遽とったほうが便利であるという場合は撤去したというふうを考えます。

○議長（中本正人君）14番 岡君。

○14番（岡 弘悟君）ありがとうございます。僕もこれ、ダイオキシンの話は、昔、ちょっと興味があっていろいろ調べたことがあって、当時騒がれていたのはダイオキシンの問題があったときに、大きな焼却施設ももちろん問題になりましたけど、小・中学校の当時あった焼却炉、今、話ししている焼却炉、ちっちゃい焼却炉もダイオキシンの問題で、これ、結構騒がれたんです。小学校がどうやって撤去しているかとか、撤去しなければならぬという議論も、実際、新聞等でもありました。調べてもうたらあります。僕、記憶にあります。

僕、当時、『AERA』という雑誌を購読しとったんですけど、『AERA』の中でもこの話は結構ありました。その話があったなかったというのは別として、実際、撤去すべきであったものやと思うし、今後、撤去すべきものやと思います。前向きに考えていくというか、前向きに考えてもうて当然やとは思いますが、そういう答弁をいただいているんですけども、お金の話もありますし、教育委員会だけで160万円、1基といたらなかなかしんどいんですけど、副市長、どうですか。

○議長（中本正人君）副市長。

○副市長（森川嘉久君）サンプル調査の話も出ていましたので、それについては、まず必要なかなというふうには思っております。それから、まず完全撤去というのはかなり、先ほども申し上げたような費用がかかってくるんですけども、その前に議員もおっしゃっておられるように、児童生徒に対する危険性の除去というのはまず一番大事なことかとい

うふうに思いますので、そういう方法がまずないか、その費用が160万円かからなくて、危険性を除去できる方法がまずないかという点を研究させていただいて、その費用次第で早急に危険性の除去はしていく必要があるというふうには考えております。

○議長（中本正人君）14番 岡君。

○14番（岡 弘悟君）いいお答えというか、自分も皆さん、思とることやと思うんで、ぜひとも早急をお願いしたいです。ただ、ほんまに腑に落ちるのは、何回も言いますが、18年間あったということです。今、危険性がないかもしれませんが、18年前はどうやったんですかというのもすごく引かかる。それでも、もう言うてもしやあないですよ。ここで言うたところで、18年前、僕が撤去せえ撤去せえと言うたかというたら、僕も言うて

ないです。僕も、今、初めてここで言わしてもうたんで、僕も同じやと思います。

だから、大切なのは今後、子どもたちが危険性があるないにかかわらず、やっぱり焼却炉があるということ自体イメージも悪いし、しかも、焼却炉、18年もたって使われてなくて古くなってきとるでしょう。それも結構、気にもなるんで、何らかの安全対策等も含めて、今後、予算の許す範囲で、子どもたちの安全性を第一に考えて推し進めていただけるといふ答弁をいただいたんで、もうこれ以上の答弁はないと思いますので、ちょっとあまりにも早いかもしれませんが、私の一般質問を終わります。

○議長（中本正人君）14番 岡君の一般質問は終わりました。